



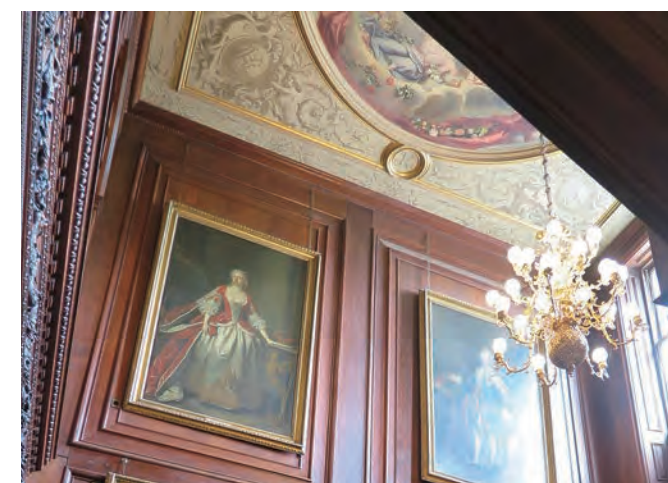
テムズ川上流、麗しき田園風景が広がるパークシャーの地に威風堂々とした大邸宅のホテル「Cliveden」が建っている。イギリス王室ゆかりの名門ホテルである



ホテルの歴史は第二代バッキンガム公爵が 1666 年に建てた宮殿に遡る。代々の君主たちがここに居を構え、イギリス王室の別邸とも呼ばれる歴史的な館であった



連綿と受け継がれた伝統を感じさせる豪華なロビーラウンジ「Great Hall」。17 世紀のアンティークに彩られた歴史的にも貴重な空間だ



第二代バッキンガム公爵以後、ここに居を構えた代々の君主や妃たちの肖像画が掲げられている重厚なステアケース



インダイニングに隣接して用意されたライブラリー「The Library」。ここで、ゆったりとした時の流れに身を任すのも一興だ



第二代バッキンガム公爵以後、ここに居を構えた代々の君主や妃たちの肖像画が掲げられている重厚なステアケース

クリヴデン Cliveden

www.jhrca.com/worldhotel?cat42

筆者 小原 康裕

ホテルジャーナリスト
慶応義塾大学法学部法律学科卒。
74 年 Munich Re 入社。
85 年築地原健園代表取締役。
2001 年投資顧問会社原健設立、
代表取締役 CEO。
JHRCA、日本ホテルレストラン
コンサルタント協会理事。

www.jhrca.com/worldhotel

現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。

『世界のリーディングホテル』を本誌に連載して、ちょうど 100 回目を迎えることとなりました。思えば 2011 年 6 月に「The Peninsula Beverly Hills」を掲載してから今回の「Cliveden」まで、実に 4 年にわたり 100 軒に及ぶ世界の名門ホテルをご紹介してまいりました。これを記念して、オータパブリケーションズ社長の太田進氏との対談を含め、特別企画を組んでいただいた次第です。スタッフ全員の心温まるご協力に感謝の意を表すとともに、これまで皆様方から頂戴したご支援に篤く御礼申し上げます。

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

※本連載は毎月 2・4 週号掲載





首相にもなった George Canning にちなんだデラックス・スイートの「Canning」。ファイアピースや天蓋付きのベッドなどエレガントな付まの部屋だ。クリヴデンの各部屋は客室番号の代わりに各界の著名人の名が記されている



“鏡の間”を彷彿させる壮麗なサロン「The French Dining Room」



“Lady Astor”と呼ばれた社交界の華、ナンシー・アスターの肖像画。「St. Regis」を創設した J・ジェイコブ四世の母親であり、クリヴデン最後の所有者でもある

テムズ川上流、麗しき田園風景が広がるパークシャーの地に威風堂々とした大邸宅のホテルが建っている。ホテルの名は「Cliveden」。イギリス王室ゆかりの名門ホテルである。ホテルの歴史は第二代パッキンガム公爵が 1666 年に建てた宮殿に遡る。以後、代々の君主たちがここに居を構え、イギリス王室の別邸とも呼ばれる歴史的な館であった。やがて時は移り、1906 年に世界屈指の資産家であったアメリカのアスター一家に所有権は移る。ナンシー・アスターのサロンの場となったクリヴデンは栄華を極め、英国ロイヤルファミリーや英国首相チャーチルなど多数が招待されている。ちなみに、彼女は“Lady Astor”と呼ばれた社交界の華で、「St. Regis」を創設した J・ジェイコブ四世の母親であり、「Waldorf Astoria」に連なる家系である。

現在の建物は、過去二度による焼失の後、1851 年にサザーランド公爵の邸宅として建てられたもので、建築にはウェストミンスター宮殿（現英国国会議事堂）の建築家であるチャールズ・バリーが携わっている。1942 年、アスター家はクリヴデンを英国ナショナルトラストに寄贈する。以後、376 エーカーに及ぶ広大な土地はトラストに管理され美しい庭園が見事に保持されている。85 年からは最高級マナーホテルとして運営され、現在は Relais & Chateaux 加盟のフラッグシップホテルとなっている。

ベルキャプテンに案内され、館内に足を一步踏み入ると歴史の重さが伝わる「Great Hall」に目を奪われる。筆者にアサインされた部屋は、首相にもなった George Canning にちなんだデラックス・スイートの「Canning」。ファイアピースや天蓋付きのベッドなどエレガントな部屋だ。各部屋は客室番号の代わりに各界の著名人の名が記され 39 室ある。ミシュラン・スターシェフの Andre Garrett 氏が率いる「Andre Garrett at Cliveden」は館の中心にあり、広大なガーデンを望む気品あるメインダイニングだ。レストランに隣接して「The Library」、「The French Dining Room」、「The Boudoir and Tote Room」など麗しきサロンを用意してゲストの要望に添えている。専用スパ「The Pavilion Spa」は別棟にあり、屋外・屋内の二つのプールで楽しめる。

ホテル前面にある広大なフォーマルガーデンはテムズ川を眼下に視界が開け、空中庭園のような素晴らしいロケーションを誇る。なだらかに広がる緑の芝生が気持ちよく、テラスにつづく壮麗なシンメトリーの階段には大きなマグノリアの花が咲き、甘美な香りを漂わせている。クリヴデンは大英帝国の残照が漂う貴重な名門ホテルと言えよう。



ミシュラン・スターシェフの Andre Garrett 氏が率いる「Andre Garrett at Cliveden」は館の中心にあり、広大なガーデンを望む気品あるメインダイニングだ



威厳を持ち、かつフレンドリーな対応で評価が高いレストランスタッフたち



ゲスト専用スパ「The Pavilion Spa」は芝生の別棟にあり、屋外・屋内の二つのプールで楽しめる

世界のリーディングホテルから厳選
ホテルジャーナリスト
小原康裕 渾身の写真集

絶賛発売中

A4 変型 フルカラー 128 ページ
3,000 円 (本体価格)
www.ohtapub.co.jp/worldhotell

